

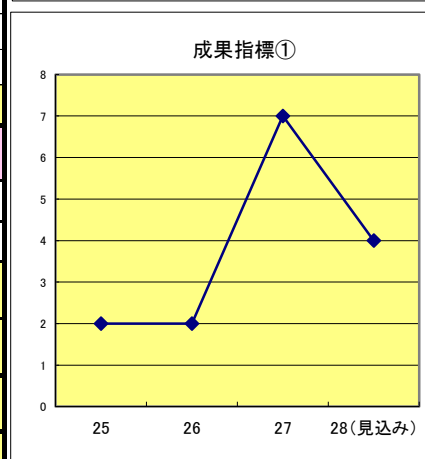
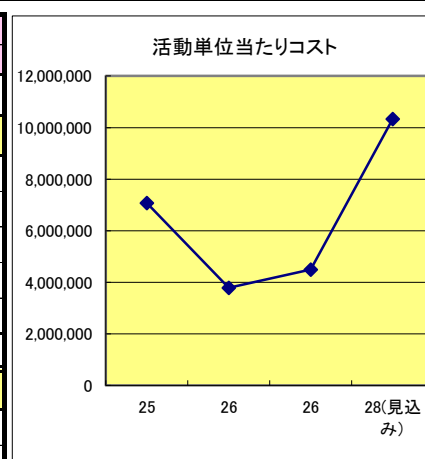
平成 28 年度 事務事業評価シート (平成 27 年度実施事業)

整理番号

土道05

事務事業名		橋梁改修事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	3	橋梁維持費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	51	橋梁改修	
	施策(節)	9	道路交通					
	施策の方向	(2)	計画的な道路整備と維持管理の推進					
関連する計画等		羽曳野市公共施設等総合管理計画			作成部署	土木部道路公園課		
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2243		
事業の概要(目的・内容)		当課で管理している市道認定道路に架かる橋梁は95橋ある。これらの橋梁のうち通学路に指定された道路に架かるなどの56橋を対象とし橋梁の寿命を延ばすため平成24・25年度に点検及び長寿命化修繕計画を作成している。今後その計画に基づき橋梁の補修・点検を行う。 平成24・25年度：点検(56橋)及び点検結果に基づき長寿命化修繕計画を作成。2橋修繕。 平成26・27年度：長寿命化修繕計画に基づき2橋の修繕工事、5橋の詳細設計実施。 平成28年度：長寿命化修繕計画に基づき4橋の修繕工事実施。						
根拠法令等		道路法、道路法施行令、道路法施行規則						
事業期間		☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満(平成 年度開始)						
事業開始時から の状況変化		平成26年に道路法施行規則が改正され、橋梁点検の要領改訂及び5年毎の定期点検実施が義務付けられた。その事により平成29年度に全95橋の定期点検を実施し、新たな長寿命化計画の再策定予定。						
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称()			委託内容	・橋梁長寿命化修繕計画策定、点検 ・橋梁維持補修設計、工事		
		☒ 民間委託 ☐ その他						

区 分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)
事業費【1】(千円)	12,348	5,126	28,903	37,999
人件費【2】(千円)	1,794	2,434	2,512	3,322
職員数				
正規職員	0.26 人	0.35 人	0.35 人	0.45 人
再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
嘱託員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
非常勤職員	人	人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】(千円)	14,142	7,560	31,415	41,321
財源内訳				
国庫支出金(千円)	6,655	0	15,737	0
府支出金(千円)				
市債(千円)				
その他(使用料・手数料等)(千円)				
一般財源【B】(千円)	7,487	7,560	15,678	41,321
活動指標 (事業の活動実績)【C】単位	25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)
① 補修設計及び補修橋梁数 橋	2	2	7	4
② 点検及び計画策定橋梁数 橋	56	0	0	0
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)	7,071,000 円	3,780,125 円	4,487,900 円	10,330,225 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)	3,743,500 円	3,780,125 円	2,239,757 円	10,330,225 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)	121 円	65 円	274 円	363 円
一般財源【B】の推移(前年度比)		1.0 %	107.4 %	163.6 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☒ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☒ 5. その他(平成25年度より橋梁補修工事実施)			
※該当項目すべてに✓				



成果指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
(事業の達成度)	① 補修設計及び補修実施橋梁数	橋	目標 2	2	7 達成率(%)	4
	(式又は説明)		実績 2	2	7 100.0%	
	② 点検及び計画策定実施橋梁率	%	目標 100	100	100 達成率(%)	100
	(式又は説明)		実績 100	100	100 100.0%	

(式又は説明) (点検実施数+計画策定実施数) ÷ (点検必要数+計画策定数) × 100

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○					○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	道路法施行規則により、道路管理者の責務として、点検・保全・記録の義務化が明記された。その中で5年毎に点検を行い、維持保全を行う事業であり、継続性を要する。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	過年度に実施した点検結果を基に長寿命化修繕計画を策定しており、その計画通りに修繕を行うので、橋梁の維持保全に大変効率的な事業である。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☐	☒	
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	既存の橋梁の長寿命化を図る上で大変重要な事業である。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	長寿命化修繕計画に基づく点検、修繕が出来ている。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	平成29年度、法令及び長寿命化修繕計画に基づき全橋梁を対象に定期点検を実施し、点検結果を基に再度今後の長寿命化修繕計画を策定する。以後道路管理者として新たな長寿命化修繕計画に基づき橋梁の適切な維持管理を行っていく。	

行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	